

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	灸実技6	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書						
担当教員情報							
担当教員	矢野 恭一郎			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師		
学習目的							
東洋医学的診断法と西洋医学的診断法を学び、適切な施術を施すための判断力を養う。鍼灸施術にとって最も大切な能力は、その患者の 状態を正確に把握することである。そのための方法として、東洋・西洋の両方に存在する人体把握の方法を身につけることを目的とする。							
到達目標							
東洋医学、中医学の診断方法から得た情報をもとに弁証論治が出来る。その弁証論治に沿い、鍼、灸それぞれの補瀉手技が出来る。補瀉 手技の技術を把握、獲得したことにより中医学的治療が出来るようになる。また、中医学の奥深さを知り、繊細な鍼灸技術を身につけるこ とが出来る。							
教育方法等							
授業概要	中医学の治法に基づいた鍼と灸それぞれの技術、手技量学を理解し身につけ、代表的な各疾患において弁証論治、施術が出来る ことを目的とする。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講 はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価 方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験(筆記試験)				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	眩暈			耳鳴り、難聴に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
2回	咳嗽			咳嗽に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
3回	鼻閉鼻汁			鼻閉鼻汁に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
4回	腹痛			腹痛に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
5回	疲労倦怠			疲労倦怠に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
6回	食欲不振			食欲不振に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
7回	便秘			便秘に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
8回	下痢			下痢に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
9回	高血圧、低血圧			高血圧、低血圧に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
10回	不眠			不眠に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
11回	のぼせ、冷え			のぼせ、冷えに対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
12回	顔面痛、顔面麻痺			顔面痛、顔面麻痺に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
13回	肩こり			肩こりに対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
14回	痺症①			痺症に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			
15回	痺症②			痺症に対する弁証論治、鍼灸処方が出来る			